

一般質問



藤原 正則 議員 (み・無)

長期基本計画の改訂について

①検討委員会における特徴的な意見は。②これからのスケジュールは。③景気動向を踏まえ、真付けとなる財政見直しをどう考えているのか。④消費税をどのように見込んでいくのか。⑤前回は7つの品川プランという重点的・特徴的なものを抽出したが、今回の見直しでの考えは。⑥都区のある方について⑦特別区としての取り組みは。⑧区長の考えは。⑨中間見直しの際、組織改正の考えは。

財政についての所見は。③区内中小企業に向けて、更なる施策の工夫はあるのか。 企画部長 ①国家財政の状況は極めて厳しい状況にあると認識している。②区財政の先行きは楽観視できないが、更なる行財政改革等で、効果的な財政運営をめざしていく。③景気動向等の把握に努め、積極的に支援する。

待機児童解消と今後の保育施策について ①人口動向の調査結果も踏まえ、待機児童対策をどのように進めるのか。②昨年関連三法が成立し、取り組みが進められている子ども・子育て支援新制度について③準備状況は。④区としての取り組みの考え方は。⑤今後、区の幼保一体施設、幼稚園、保育園はどうなるのか。

子ども未来事業部長 ①平成27年度が乳幼児人口のピークと予測するが、その後も保育需要の高とまりが見込まれる。将来的な財政負担を考慮し、総合的に取り組む。②国では本格施行に向け準備を進めている。③精神的に取り組む。④存続できるが、認定こども園への収れんをめざすとされており、検討を進める。

①基金残高700億円を有する健全財政の品川区から見て、国家財政の現状等は。②区

経済対策について

オリンピック・パラリンピック招致について

①2020年東京オリンピック・パラリンピックの②区への影響は。③区の取り組みは。④オリンピックのにぎわいととも、子どもたちへの取り組みは重要なことと思う。今後の取り組みの考え方と具

体策は。 企画部長 ①経済波及効果等を期待する。②区内に連絡会議を立ち上げ、課題整理を行いながら対応する。③世界のの人々と出会う機会となることから、児童の語学力の強化等に取り組む。また、小中高生対象のスポーツ教室や強化練習等を行うっていく。

品川図書館について

①図書館は区長部局に移して生涯学習を一体的に考え、施策を展開すべきでは。②駅近くでの取り次ぎサービスについて③実績件数は。④全体に対する割合は。⑤更に展開しては。⑥図書館では勉強できるスペースがなく、不満の声が寄せられている。実情と

考え方、自習にも使えるよう改善する考えは。 教育次長 ①現在の位置づけを変更する考えは無いが、生涯学習部門との連携も不可欠であると考えており、引き続き緊密に連携する。②8月は大井町が7千272件で約17%だ。③総合的に検討する。④固定した自習室は設けていないが、閲覧席での自習は制限していないため、閲覧席の活用を案内する。



大沢 真一 議員 (自民)

職員育成について

①優秀な人材を確保するため、どのような手だてを講じているのか。②過去5年間の③特別区職員採用試験の受験者のうち、品川区を希望した者の数の推移は。④I類採用試験において、国等と特別区を併願し、品川区を選んだ者は何人か。⑤採用後3年程度までの職員で、メンタルヘルスの不調による病欠休暇の取得、休職や退職に至った件数と概略は。⑥新人職員には指導員を置くことや、指導員の負担を勤務評定で反映する仕組みの整備も急務かと考える

見解は。⑦採用後、職員の品川区への定着率や勤務成績の良好さで、採用過程が妥当か検証しては。⑧面接官のスキルアップのため研修や訓練を充実させては。⑨若手職員の柔軟で新しい発想を区政に取り入れることは、区政にプラスになるはずだ。特命事項に対する職員公募による人事異動の実施や、職員提案を政策化する仕組みを導入しては。

⑧管理職試験等の受験者減少に歯どめをかけるため、上司が職場をリードし、仕事のやりがいや楽しさを部下に伝えていくことや、組織的な支援も必要だと考えるが、現在の取り組みと今後の予定は。

総務部長 ①特別区採用試験合同説明会に品川区のブースを設け、区をPRしている。また、各組織において品川区の魅力や区政情報を積極的に発信している。②平成20年度247名、21年度317名、22年度252名、23年度274名、24年度236名だ。③採用者205名のうち、8割以上が当初からの品川区希望者だ。④過去5年間で病欠休暇8名、産後休業6名、退職1名だが、産後休業等

の対応により9名が職場復帰している。⑤係長と指導担当職員を対象に新規採用職員受け入れ研修等を実施し、新人指導担当職員には勤務評定の「指導力」に反映させている。⑥採用6か月後の条件付採用期間評定や、上司との面談の中で把握し、必要に応じ人事課も対応している。⑦専門研修受講者を面接員に配置し、評定の精度を確保している。面接者訓練の充実を図るなど、より良い人材の確保に努める。

⑦被災地への職員派遣は公募により実施している。政策課題研修は提案の事業化を図るなど、職員の意欲をより具体的に反映できる仕組みとしていく。⑧若手管理職や係長による勉強会を新たに始め、政策実行能力の向上と連携の強化を図っている。また、職員の育成については、採用、研修、昇任などの多様な場面で組織を挙げて取り組む。

自治とリスク管理について

①厚生労働省の判断を受け、野田市が子宮頸がんワクチン接種の見合せを決定したことは、市が自ら判断し、方向性を打ち出した自治の望ましいあり方の1つだと思ふ。区民の健康を守るという、区の責務、責任という観点から、リスクには十分な危機管理が行われるべきだ。万に1つの危険性があれば国に追随することなく、区の自己決定・自己責任の姿勢で安全性を最優先とした対応を図るべきでは。

②区民生活の更なる向上に向けて、自治本来のあり方の観点から、どのように取り組むのか。③自治を徹底していく区の現状とあるべき姿は。 区長 ①野田市では接種機

会は残されているため、国の方針に反したのではない。区では、将来の子宮頸がんの発症を抑えることも、区民の健康リスクの回避に重要であり、過度に接種を抑制する必要はないと判断した。定期予防接種は法に基づき実施されるため、裁量の余地は多くはないが、自己決定・自己責任の姿勢を持ち、適切に対応する。②平成20年に新しい基本構想を策定した。その中で区の将来像を掲げて自治の方向性を明らかにするとともに、その具体化のために長期基本計画を策定して実現に努めている。また、独自の判断と責任において、区では23区に先駆け、ごみの各戸収集の実施待機児童問題が発生した際の私立保育園や認証保育所に対する誘導策を実施している。

請願・陳情の審査結果(平成25年第3回定例会)

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、審査結果をお知らせします。

Table with 4 columns: 付託委員会, 請願・陳情件名, 受理番号, 審査結果. Rows include items like 'Fixed Asset Tax and City Planning Tax Reduction Measures' and 'Wanted to distribute emergency kits to residents in the district'.

*採 択 (区議会として、ご希望に賛同します。) 趣旨採択 (区議会として、ご希望の趣旨には賛同します。) 不採 択 (区議会としては、ご希望に賛同しかねます。) 継続審査 (区議会として、引き続き慎重に審査します。)